

# コンビニ払いを悪用する架空請求にご注意!

お問い合わせ 消費生活センター  
(平日) 午前9時～午後4時 ☎57-8143

消費者ホットライン  
☎188 (嫌や!泣き寝入り)

これまでの架空請求は、銀行ATMからの振込みやプリペイドカードの購入を指示する手口が多く見られました。

しかし、最近ではコンビニの店頭で「支払い番号」を使って料金を支払うコンビニ払いを悪用する手口が全国的にも増加しています。

## 【事例】

携帯電話に「コンテンツの利用料金が未納のため法的措置に移行します」という内容のメールが届いた。

慌てて画面に記載された番号に連絡したところ、「5万円を支払うように」言われた。

携帯電話の情報端末で手続きするよう指示があり、指示された番号を入力して、紙を出力し、レジで5万円を支払ってしまった。



## アドバイス

身に覚えのない請求には、返信や連絡はせずに無視をする。

詐欺業者からのメールに返信したり、電話をかけたたりすると自分のメールアドレスや電話番号を教えることになります。

支払い番号を伝えられても、絶対に支払わない。

詐欺業者は、電話やメールで支払い番号を事前に伝えるケースだけでなく、コンビニに着いたら電話をかけさせ、その場で支払い番号を伝える場合もあります。

不審な場合は、消費生活センターへ相談してください。

## 首都圏情報コーナー

### 第11回文化講演会開催

8月4日、東京都渋谷区のアイビーホール青学会館で、首都圏佐渡連合会主催による第11回文化講演会が開催されました。106人が参加し、佐渡市からは伊藤副市長ならびに山本地域振興課長に出席していただきました。

郷土史研究家の渡辺和弘先生(両津夷在任)による講演会では、「佐渡よもやま話」と題して、現代につながる佐渡人脈について講話を行っていただきました。

例えば来年5月から新両陛下におなりになられる皇太子殿下と皇太子妃とを引き合わせた元国連大使の中川融さんのルーツは畑野につながるなど、講師の広く深く調べた事実に基づく数々の「よもやま話」に、佐渡のこともっと知りたいと思う首都圏在住の佐渡出身の方々に郷土への理解や愛着・誇りを育む講演会となりました。

講演に続き、佐渡市から佐渡の活性化のために、「ふるさと納税」による佐渡を応援、貢献したいと考える方々に役立つ制度の内容や返礼品について紹介がありました。(文責：首都圏佐渡連合会 文化芸能部会長 伊豆野 泰弘)



講演する渡辺先生

## 編集後記

さまざまな自然災害が発生した今年の夏。

ニュースを見るたびにいつ起こるかかわからない自然災害に備えて、準備をすることが重要だと感じました。

「もしも」のときも安心して過ごすために、あらためて家族でどうすればよいか話したいと思います。(T.S)

